

やすこうち
安河内です

中国通信 第1号

【ご挨拶】

みなさんこんにちは。私は定時制の職員で安河内と申します。私は神奈川県教育委員会の「中華人民共和国への日本語教師派遣事業」で中国山東省日照市の曲阜（きょくふ）師範大学というところで、日本語を教えています。



日照市は青島市の南約150km、車では高速道路を利用して2時間のところにあります。

黄海に面した日照市は、神奈川県と似た気候です。

【中国への道のり】

私は2017年4月3日に、成田空港から出国して、青島空港に向かいました。青島（チンタオ）は日本人の特に年配の方は聞いたことがある地名だと思いますが、成田—青島間の飛行機はANAの一日一便しかありません。所要時間は2時間30分くらい、時差はマイナス1時間です。

青島空港に到着すると、大学からの迎えの方が待っていてくださいました。中国語が全く話せない私にはとても有り難いことでした。空港から少し走ると高速道路に入ります。そして青島膠州湾大橋（ちんたおこうしゅうわんおおはし）という27kmにも及ぶ海上にかかる橋を渡ります。（世界最長の水上橋として、ギネスブックにも登録されているそうです。）橋を渡っていて気になったのは、濃いモヤがかかっている見通しが悪かったことです。このモヤはこのあたりの特有の天気ですが、大気汚染の影響もあるとのことでした。青島には24時間稼働している工場群があり、そこから排煙が出ているため、風向きによって影響が出るそうです。

晴れているのに、空も周りも白っぽくなっています。風がほとんど吹いていなかったせいか、潮の香りも、科学物質のようなにおいもしませんでした。

橋だけが海の上にぽっかりと浮いている印象でした。そして橋の終わりは見えません。

本来なら橋の向こうに、日照市の海岸線が見えるのだそうです。

晴れているのに、空も周りも白っぽくなっています。風がほとんど吹いていなかったせいか、潮の香りも、科学物質のようなにおいもしませんでした。

橋だけが海の上にぽっかりと浮いている印象でした。そして橋の終わりは見えません。

本来なら橋の向こうに、日照市の海岸線が見えるのだそうです。

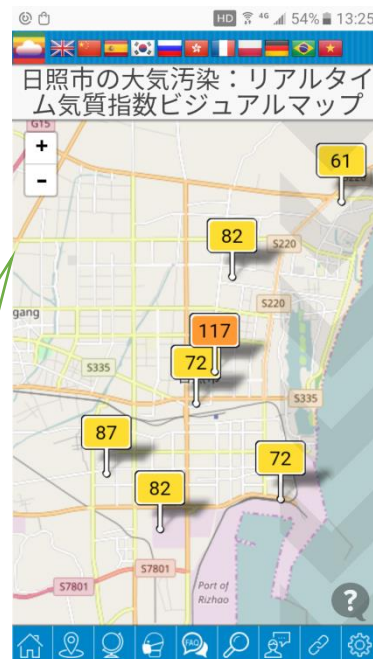


中国に派遣されることが決まってから、出国前に周囲の方も自分も一番心配していたことは、この大気の状態でした。私もこのような機会に恵まれてから知ったのですが、大気の状態を表すAQI（Air Quality Index=空気質指数）というものがあるということです。今では毎日チェックしてから出掛けるようにしているくらい、私の生活の中に溶け込んでいます。

大学の職員や学生の中で、数値が高い（空気質が良くない）時にマスクをしている割合は、多くて2割くらいかなと感じます。

スマホのスクリーンショットです。上から2つ目の「82」の数値の近くに住んでいます。

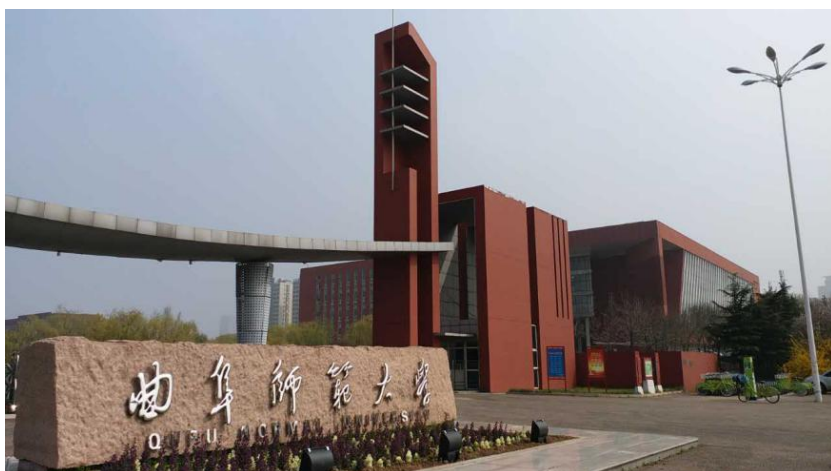
スマホにショートカットキーを設定して、常にチェックしています。



【大学と学生】

曲阜師範大学の本部は孔子の生まれ故郷である曲阜市にあります。日照キャンパスは20年ほど前にできました。私の所属は翻訳学院日語系（翻訳学部日本語学科）です。中国では学部のことを「学院」というそうです。日本語学科は1クラス30名前後で、2クラス構成です。男女の比率は平均すると2：8くらいです。学生たちが日本語を学ぶきっかけで多いのは、日本のアニメや映画・ドラマを観てからというもの。ワンピースやナルト、ジブリを知っている学生がたくさんいます。昨年日本でも話題になった『君の名は』を映画館に3回観に行ったという学生もいます。また、今年の1月から3月まで放送していたテレビドラマ『カルテット』を観ていた学生もいて、そんな話題で私も一緒に盛り上がりたりしました。

私が受け持つ学年は2年生で、作文と汎読（はんどく）（文章全体の内容を把握することを目的とする）という講座を担当しています。作文は文法や文の構成を教えながら、ひたすら書かせます。汎読は量をたくさん読むのが勝負です。とにかく読ませて、大意をつかませます。ただ2年生ということは、つまり日本語の勉強を始めて2年目ということです。日本で授業をしていたようなハイペースにならないように注意することが、今の私の最重点課題です。



大学の正門です。正門は敷地の西側にあります。門は東西南北すべてにあり、警備員さんが必ずいらっしゃいます。

写真正面の奥に見える建物は、図書館です。



大学の中を、ちょっと歩いてみましょう。

こちらは各学部の研究室が入るメインの校舎です。地上10階、地下1階で、日本語学科の研究室は10階にあります。中央には中国の国旗が掲揚されていますね。私が研究室に行くときは、健康のため、エレベーターは使わず、階段で上ります。ちなみに中国語でエレベーターは「電梯」と書きます。この字を見たとき、「なるほど!」と声を出してしまい、周囲にいた学生の注目を集めてしまいました(汗)



2枚目、3枚目は日本語学科の研究室からの眺めです。えんじ色の建物はすべて大学の建物です。広い敷地に校舎がたくさんありますから、教室を間違えないように注意しなければなりません。敷地内にはたくさんのベンチや芝生が敷かれた小高い丘などもあり、天気の良いと、ベンチに座って勉強している学生をよく見掛けます。



校舎の奥に見えるのは、高層マンションです。20階から30階の高さです。



卒業に向けて、記念写真を前撮りしている様子です。

上着の色は学部によって少しずつ違うようです。この学部は青い上着ですね。

正門からまっすぐ進んだところに、この大学の校章が彫られたモニュメントがあります。

*授業や生活の様子は、次回お伝えします。